

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしやかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議
(だい 1 4 期 だい 1 年 だい 2 かい だい 1 にち)
ぎじろく
議事録

1 日時 2022 (令和4)年6月19日(日) 午後2時00分～5時45分

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 22人

アブドウル ジャリル、李 智永、イトウ ユリカ キヤレン、呉 多恵、
グエン チュン ザン、グエン ヌー フオン ザン、戴 淑、タバ ラメス、
ドウマヤス アリヤン、ヒリストバ ガブリエラ、フィゲイロ キム リリアン、
ブリツィナ タチヤナ、ペレーラ ラヒル サンケータ、ムハマド アイマン
アリフ、楊 子宜、ユデク マルチン、尹 智夏、李 歆歆、李 晨、刘
英杰、林 芳安、レイバーマン ケビン

(2) 事務局

佐藤 課長、佐藤 課長補佐、山本 担当係長、植 主任、五十嵐 職員、
高橋 専門調査員

4 傍聴者 2人

5 会議次第(公開)

(1) 開会

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

【全体会】

ペレーラ委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議、2022年度第2回第1日を開催する。今日はフェデリカさん、マイさん、バさん、野田さんが欠席だ。それでは、今日の日程と配布資料の確認について、事務局から説明をお願いします。」

(事務局佐藤課長補佐が説明)

ペレーラ委員長「次に、前回会議のまとめについて、事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし)それでは、議事に入る。まずはグループワークだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料2に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし)それでは、それぞれの会場にわかれてグループワークを始めてください。グループワークは15時20分までで、全体会の再開は15時30分だ。」

(グループワーク)

ペレーラ委員長「それでは、全体会を再開する。まずは、Aグループから順番にグループワークの報告をお願いします。」

戴委員「Aグループからは、大きく4つの項目にわけて説明する。まず、1つ目に生活に関して、ごみ出しのルールの見せ方の工夫、地元券の周知、日本語のサポート、外国人総合サポートURLの統合、2つ目に子育てに関して、学校探し、手続きのサポート、3つ目にコミュニティに関して、情報の共有、イベント情報の発信、4つ目に平等な権利に関して、実現できるかはわからないが選挙に参加できる権利という話が出た。」

レイバーマン委員「Bグループでは、6つの課題が出た。1つ目は、情報発信について、川崎市はいろいろと取り組んでいるが外国人に届いていないので改善が必要だ。2つ目に、相談窓口について。3つ目に、医療関係について、病院に行くときに通訳がいてくれると助かるという意見が出た。4つ目に、ごみや環境問題について、ごみの分別に困っているという意見が出た。5つ目に、2013年度にも提言されているウェルカムセットの改善について意見が出た。6つ目に、外国人による市政参加についてで、住民投票制度について意見が出た。」

ブリツィナ委員「まず、私たちのグループでも日本に長く住んでいる外国人には投票できる権利が与えられるとよいという意見が出た。ほかには、大きなテーマとしては情報発信についてで、いろいろな情報をどうやって外国人にうまく伝えるかという話をした。SNSを使ったり、国際交流員を活用したりといったアイデアが出た。もう1つは、健康についてで、病院や水道に関する知識が不足しているのでYouTubeなどを活用できるとよいという提案があった。あとは、子育てについてで、産後ケアなどいろいろと優れた制度があるが知られていないという話が出た。」

李晨委員「Dグループでは主に2つのテーマについて話し合った。1つ目は、子育て支援についてだ。たとえば、産後ケア制度などよい制度があるのに知られておらず、利用者が少ないというのが現状ではないかと思う。外国人向けの情報発信を強化できるとよい。情報発信のタイミングについても、代表者会議の募集案内のときがよいのではないかという意見が出た。子どもの子育てに関することでは、保育園に入れるのが非常に大変だという意見があった。とくに日本語が話せない場合には大変で、外国人が利用しやすいように支援ができないかという意見が出た。2つ目は、外国人と日本人の交流に関する事で、お互いに交流する機会が少ないという意見が出た。たとえば、小学校の授業の一環で外国人を招いて話を聞く機会などをつくるとよいのではないか。小さいころから外国人と接することで、違和感なく交流ができ、同じ市民として理解してもらえないのではないかと思う。市ではさまざまなイベントもしているが、その情報発信にも課題があると思う。最後に、前のグループでも出ていたが外国人の投票権についても意見が出た。」

ムハマド委員「Eグループでは5点の話が出た。1点目は、昨年開催された生活オリエンテーションの広報、情報発信についてだ。2点目は、かわさきアプリの存在をどのように知らせるかコンテンツの充実についてだ。3点目は、子どもの進学について、小学校に入るときにどのような手続きをすればよいか、オリエンテーションがあるとよいという意見が出た。4点目は、相談できる場所が不足しているという意見が出た。5点目は、日本語教室の改善について、オンライン授業という意見が出た。」

ペレーラ委員長「各グループの報告に対して質問や確認したいことはあるか。」

尹委員「報告に対してではないのだが、グループワークは今日で終わりか。まだ話足りない人もいると思うので、もう1回できないか。」

ユデク委員「私もグループワークをもう1回やりたい。」

林委員「事務局に聞きたいが、たとえばすぐにできそうなことなどは提言にしなくても実現できたりするのか。何か方法やルートはあるか。」

事務局高橋専門調査員「まず、川崎市は代表者会議から出た提言しか取り組まないわけではない。会議の中で出た意見で、すぐにできそうなことなどは提言にならなくても改善できたりする。」

楊委員「川崎市の外国人窓口相談で、こういった相談が多いかなどの資料をもらえると審議の参考になると思うのだが、それは可能か。」

ペレーラ委員長「今後の審議の中で必要だということになれば、事務局に資料のリクエストができる。」

フイゲイロ委員「やはりグループワークがもう1回できるとよい。外国人は仕事、就職活動で困っている人が多いと思うので、もう少し仕事のことについて話したい。」

ペレーラ委員長「ほかにあるか。(なし)それでは、専門調査員からのコメントに移りたい。」

事務局高橋専門調査員「今日は、まずはみなさんがいろいろなアイデアを出して共有することが目的なので、それはできたと思う。これから、具体的に審議していく中では、まずはイメージや思い込みではなく、現状や実態を確認して、事実に基づいて話していくことが重要だ。あとは、理解や共感を得られるかということが大事だが、たとえば立場を置き換えて考えてみるとよいと思う。逆の立場になったときに、できるか、理解や共感を得られるか、ということ意識して欲しい。全体に関連することとして、おそらく情報に関する大きな課題としてあると思う。情報の問題は、発信する側だけでは解決できなくて、ある程度自分で情報を取りに行くというアクションがないと、待っているだけでは自分の欲しい情報はやってこない。市の側からすると、外国人市民が約4万5千人、川崎市民全体で150万人以上いる中で、1人ひとりのその人が欲しいと思っている情報を届けることはすごく難しい。どうしても行政と1人ひとりの距離は遠いので、そのあいだに行政と個人をリンクさせる何かが必要だと思う。」

ペレーラ委員長「グループワークに関しては、これで終わりにする。次は視察についてだ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料3に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。（なし）では、候補を順番に読み上げるので1人1回手を挙げてください。

- 1 . . . 12人
- 2 . . . 2人
- 3 . . . 3人
- 4 . . . 3人
- 5 . . . 2人

では、視察先はかわさきエコ暮らし未来館・浮島処理センターに決定した。次に、同じく日程について決をとる。

- 1 . . . 3人
- 2 . . . 9人
- 3 . . . 10人

では、日程に関しては8月27日を第1候補、8月6日を第2候補ということで調整を進めてもらう。次に、今後の審議計画についてだ。事務局から説明をお願いします。」

（事務局高橋専門調査員が資料4に基づき説明）

ペレーラ委員長「何か質問や意見はあるか。」

ユデク委員「先ほどもコメントしたが、みなさんの意見をもっと聞きたいのでグループワークをもう1回やった方がよいと思う。事実に基づいてというのであれば、事務局が今日出た意見について簡単な資料をつくれればよい。」

林委員「説明の中で、9月の会議ではテーマ候補のリストをもとにディスカッションをするとあったが、そこでも議論できるということか。」

事務局高橋専門調査員「最終的には多数決でテーマを決めるが、その前にしっかりと議論できる。」

林委員「それならば、グループワークではなくても意見交換できると思った。」

李敏副委員長「グループワークではなくて、ある程度審議テーマの候補を絞ったうえで、資料に基づいて審議するのがよいと思う。13期のときは前半に時間を使いすぎて、テーマが決まってから審議するための時間が足りなかったと感じ

ている。グループワークは交流という意味ではよいと思うが、ただディスカッションするだけではあまり次につながらない。」

事務局高橋専門調査員「グループワークをやりたいという思いは理解できるが、会議の回数は決まっているので、どこかを削らなければいけなくなる。たとえば、会議とは別に自主勉強会というかたちでもっと自由にディスカッションすることもできる。」

ユダク委員「2年目の4月と5月の振り返りは内容が重なっているので、4月分を減らせばよい。調整はあとで事務局がすればよい。」

イトウ委員「私もグループワークは楽しかったが、先ほどの報告を聞いていると、割とどのグループの意見も似ていたと思う。大事なのは提言だと思うので、ここに時間をかけられるようにした方がよいのではないか。」

(事務局と相談)

ペレーラ委員長「案を3つに整理した。1つ目は、当初の予定どおり次回は審議テーマの絞り込みをする。2つ目は、グループワークをもう一度する。3つ目は、次回は審議テーマの絞り込みをするが、それとは別に自主勉強会をする。この3つの案で決をとりたい。」

劉委員「足りない部分は臨時会議として開催すればよいのではないか。条例には、委員長が必要だと認めるときは臨時の会議ができる」とある。」

事務局高橋専門調査員「たしかに、条例で臨時の会議ができるということになっているが、基本的には8回という回数が決まっている。臨時の会議は1年に1回分は確保しているが、会場や日程、予算なども含めて現実的には必要だからといって何回も開催することは難しい。」

ペレーラ委員長「時間が押している。会議を延長する場合には、委員長が諮ることになっている。このまま会議を延長してよいか。賛成の人は手を挙げてください。(19人)」

劉委員「グループワークを追加するために、スケジュールを削らなければならないというのは納得できない。条例では委員長が認めれば臨時会が開けるとある。今のスケジュールだと、すでに臨時会が12月に決まっているのも納得できない。」

事務局高橋専門調査員「たしかに、条例には開けると書いてあるが、現実的には難しいということでご理解いただきたい。日程や会場はすぐには確保できないので、あらかじめスケジュールとして組ませてもらっている。みなさんの総意と

して12月の臨時会をほかの日程で開催したいということであれば、もちろん変更は可能だが、会場の確保までは保証できない。」

劉委員「持ち帰って検討して欲しい。」

ペレーラ委員長「では、先ほどの案に臨時会を追加で開催するというのをくわえて、4つの案で決をとることにする。1つ目の、当初の案のとおり、審議テーマを決めるという案に賛成の人は手を挙げてください。（7人）2つ目の、グループワークをするという案に賛成の人は手を挙げてください。（7人）3つ目の、会議とは別に自主勉強会をするという案に賛成の人は手を挙げてください。（4人）4つ目の、臨時会を開催するという案に賛成の人は手を挙げてください。（3人）1つ目と2つ目が同数だったので、その2つで決をとる。1つ目に賛成の人は手を挙げてください。（13人）2つ目に賛成の人は手を挙げてください。（8人）それでは、次回は審議テーマを決めるということになった。7月24日までに、事務局に審議テーマの候補を提出してください。1人3つまででお願いします。次は、かわさき市民祭りについてだ。事務局から説明をお願いします。」

（事務局五十嵐職員が資料5に基づき説明）

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。（なし）では、順番に決をとっていく。まずは、参加内容についてだ。テントのみ参加に賛成の人は手を挙げてください。（9人）テントとパレードに参加に賛成の人は手を挙げてください。（14人）次に、参加日数についてだ。1日のみ参加に賛成の人は手を挙げてください。（18人）2日間参加に賛成の人は手を挙げてください。（4人）3日間参加に賛成の人は手を挙げてください。（1人）ひとまず決まっていたが、市民祭りの詳細が決まって何か変更点などがあれば事務局からみなさんにメールする。続いて、実行委員会報告だ。臨時会実行委員会からお願いします。」

李歓副委員長「今日の実行委員会では、とくに決めたことはない。事務局から説明を受けて、いろいろと意見交換をした。コロナ禍ではあるが、対面でやりたいという意見が多かった。ほかには、参加者に関しては、事前登録制にするといった意見やテーマを絞るか、自由に意見を言えるようにするかなどの意見が出た。」

ペレーラ委員長「続いて、交流イベント実行委員会の報告をお願いします。」

ヒリストバ委員「実行委員長は私になった。インターナショナル・フェスティバル

は中止ちゅうしになったそうだ。代表者会議だいひょうしゃかいぎとして、資料しりょうにないものでも新しいあたらイベントいべんとに参加さんかすることもできるので、参加さんかしたいイベントいべんとがある人はまずひとは実行委員会じっこういんかいに相談そうだんして欲しい。」

ペレーラ委員長ぺれーらいいんちよう「最後に、ニューズレター編集委員会にゅーずれたーへんしゅういんかいの報告ほうこくをお願いします。」

李晨委員りしんいん「委員長いいんちようは私がやることになった。No.74のきじ記事きじについてだが、子ども支援センターこどもしえんせんたーの紹介記事しょうかいきじをリリアンさんが書いてくれることになった。」

ペレーラ委員長ぺれーらいいんちよう「今日の議事ぎじは以上だ。事務局じむきょくから事務連絡じむれんらくをお願いします。」

【事務連絡じむれんらく】

- ・外国がいこくにつながるのある子どもこの夏休みなつやすの宿題教室しゅくだいきょうしつについて
- ・7月がつ、8月中がつちゅうの連絡れんらくについて

ペレーラ委員長ぺれーらいいんちよう「これで、今日の日程きょうは終了だ。次回の会議じかいは、9月11日がつ、日曜日にちようび、ここ、国際交流センターこくさいこうりゅうで開催する。これで、2022年度第2回第1日ねんどだいの会議かいぎを終わりにする。」